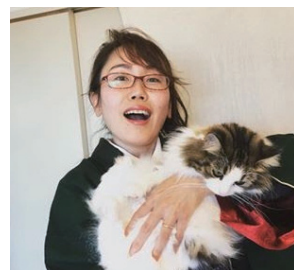


ぬかづけ 日記 連載⑧

白糠町のPRのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
結婚情報誌「ゼクシィ」、
転職情報サイト「doda」な
どの広告制作、タイ国政府
観光庁発刊ガイドブック作
成などの企画・編集に携わ
っていた。2019年4月から
白糠町の観光をPRする地
域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、ア
ウトドア。

■北田純子ブログ

「シラヌカAtoZ」
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



感謝祭のゲスト、富永愛さん
(写真中央)と生産者の皆さん。

深い感動をもたらず 白糠町産の食材たち

2月9日⑤〜2月11日⑥に開
催された「白糠町ふるさと納税
感謝祭2020」。3日間にお
たり寄付者の中から抽選で選ば
れた一般参加者とメディア関係
者をお招きして、白糠町食材を
80%以上使用したフランス料理
のフルコースを食していただき
ました。

感謝祭で私が一番強く感じた
ことは「感動が、さらに大きな
感動を呼ぶ」ということです。

生産者の皆さんは『どうした
ら最もおいしい状態で食材を料

理人や家庭に届けられるか』を
とことん追求しています。その
過程でさまざまな気付きや感動
があり、食材への愛着が深まる
ことを教えてくださいました。

次の感動は「料理長&シェフ
たちの感動」です。白糠町に足
を運び、生産者の皆さんが生み
出す食材にほれ込んだ料理長。
サポートするシェフたちととも
に、最高のコース料理へと生ま
れ変わらせてくれました。

そしてこれらが「食す人たち
の感動」を産みだします。食事
を終えた皆さんにインタビュ
ーすると「白糠町の食材がなぜお
いしいのか、すごく納得できま

した」「白糠町のファンになり
ました」「白糠町に行ってみた
くなりました」などの言葉を頂
戴しました。料理のおいしさを
美しさはもちろんですが、生産
者の皆さんの尽力や、白糠のテ
ロワール（地理、地勢、気候に
よる特徴を指す仏語）という
『食材が宿すストーリー』を伝
えることにより、招待客により
深い感動を届けることができた
のでは、と感じています。

遠方から多くのファンが 別れを惜しむ古瀬駅

廃止前の古瀬駅。古瀬駅には、

全国から多くの方が訪れて、別
れを惜しんでいます。

●福井県Y・Eさん(20代男性)
地域住民に支えられてきた駅
がなくなるのは残念。公共交通
機関のありかたについて、みん
なで考える良い機会では。

●東京都N・Hさん(30代女性)
交通インフラは地域住民にと
って重要な存在。企業経営の視
点では廃止もやむを得ないのか
もしれませんが、有事の時の備
えとして、廃止後もぜひ設備等
は残しておいてほしい。